

## 脂肪酸摂取とアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻結膜炎との関連

**背景：** n-6 系不飽和脂肪酸摂取の増加と n-3 系不飽和脂肪酸摂取の低下の結果、アレルギー性疾患が増加しているのかもしれませんが。

**方法：** 琉球小児健康調査の参加者のうち、解析に用いた要因のデータ欠損のない 6-15 歳の 23,388 名を対象としました。小学生用簡易版食事歴法質問調査票を用いて栄養に関する情報を得ました。ISAAC の基準に従い、過去 1 年のアトピー性皮膚炎とアレルギー性鼻結膜炎を定義しました。年齢、性別、居住市、兄弟数、家庭内喫煙、BMI、両親の喘息、アトピー性皮膚炎またはアレルギー性鼻炎の既往歴、両親の教育歴を交絡因子として補正しました。

**結果：** 多価不飽和脂肪酸、n-3 系不飽和脂肪酸、n-6 系不飽和脂肪酸、特に、 $\alpha$  リノレン酸及びリノール酸摂取が多いほど、アトピー性皮膚炎有症率の高まりと有意な関連を認めました。これらの脂肪酸摂取とアレルギー性鼻結膜炎有症率との間に有意な関連はありませんでした。一方、アラキドン酸摂取が多いほど、アトピー性皮膚炎及びアレルギー性鼻結膜炎有症率の低下と有意な関連を認めました。

**結論：** n-3 系不飽和脂肪酸、n-6 系不飽和脂肪酸、

$\alpha$  リノレン酸、リノール酸摂取とアトピー性皮膚炎との間に正の関連があるのかもしれませんが。アラキドン酸摂取とアトピー性皮膚炎及びアレルギー性鼻結膜炎との間に負の関連があるのかもしれませんが。

**出典：** Miyake Y, Tanaka K, Sasaki S, Arakawa M. Polyunsaturated fatty acid intake and prevalence of eczema and rhinoconjunctivitis in Japanese children: The Ryukyus Child Health Study. BMC Public Health. 2011; 11: 358.

